

	ご意見	回答
1	原案では、防災対策の強化について、下記のように記載されています。 「南部地域は地震や水害などの災害による被害が懸念されるため、マイタイムラインなど、すぐにでも始められる防災対策の普及促進に努めます。」 「マイタイムラインなどの防災対策普及促進」する前に、「地域の実情に対応したすぐにでも始められ具体策の策定と実現」と差し替えを提案したいと思います。 マイタイムラインと個人レベル防災対策の普及、促進の前に、深刻な災害が懸念されている地域なので、行政としてやることはあるでしょうというのが私のポイントです。 当南が丘団地は、市の南端の高台に位置して、ハザードマップでは、地震や水害の深刻な発生時には、周囲を水で囲まれ、陸の孤島になる姿を示しています。地震や線状降水帯の豪雨などにより、小貝川が越水する危険などの時に、身近な避難所（旧北文間小）に行くという選択ではなく、自宅に留まることが多くの住民の選択になると見込まれます。理由は、避難所は距離が2kmである以外に、水難に際しては、旧北小の避難所が使えるかどうか、対策用資材・食料倉庫が水没する懸念があることは、多くの住民は理解しています。また、市の中心部から離れているため、大災害時に市の対応がどの程度、迅速に出来るか不明です。このような状況でありながら、数10年も、この団地の課題が放置され、懸念を解決する効果的な具体策やその実施がなされていません。単に、小学校区単位に対策用資材・食料倉庫を設置すれば、済むということになりません。地域に即した効果的な災害対策を、市と南が丘自治会及び住民の間で策定して、速やかな実施することを要望致します。	南部地域は河川の氾濫による被害が懸念されるエリアであるということは市としても強く認識しているところです。そのため、南部地域の地域別構想においては「河川の氾濫は、常に発生しうる災害として認識し、堤防整備や、流下能力、防水能力向上のための掘削や浚渫等の促進を関係機関に働きかけます。」と記載しており、水害の予防に努めていきたいと考えております。こうしたハード面の整備に併せて、ソフト面での対応という意味で、「マイタイムラインなど（以下略）」という記載をしております。 また、都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものとなりますので、個別具体的な防災対策等につきましては、地域防災計画等において検討されるべきものと考えます。 なお、洪水時の避難計画として、龍ヶ崎市地域防災計画一般災害等対策資料編 p76 において、小貝川・利根川洪水避難計画を定めており、北文間地区の指定避難所は、県立竜ヶ崎南高等学校となっております。
2	花壇の管理 ・市の玄関口である龍ヶ崎市駅であるにも、かかわらず、せっかく設置されている花壇に花は無く、あるのは雑草。 ・花壇の管理を、希望する会社、学校、或いは個人に無料で貸出し管理して頂く。花壇には花を管理している会社名等を掲示してあげ、奉仕活動に取り組んでいる事がアピールできるようにする。借り手にもメリットがある。 ※行政やJRに費用負担はかからない。	第3章目標別構想で都市づくりの目標3【地域資源を活かしたにぎわいづくりと多様な働く場がある都市づくり】には、その方針の一つに「JR龍ヶ崎市駅周辺の魅力向上」を掲げております。 その中で、個別具体的な手法等を検討していくこととなるため、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
3	蒸気機関車の展示 ・歴史館に上気機関車が展示されているが残念ながら大衆の目に触れる機会がない。 ・歴史あるこの蒸気機関車を駅前ロータリーに移し、改めて龍ヶ崎の歴史を知って頂く機会をつくる。 ・話題性もありマスコミにも取り上げて頂ければ、広く龍ヶ崎市をアピールできる。可能であれば、撞舞模型も設置する。	第3章目標別構想で都市づくりの目標3に【地域資源を活かしたにぎわいづくりと多様な働く場がある都市づくり】、目標4に【水と緑・歴史に囲まれて生活できる都市づくり】を掲げております。 国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞や市民遺産である関東鉄道竜ヶ崎線も本市の歴史的かつ重要な地域資源でありますので、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
4	龍ヶ崎市駅前の物件活用 ・市民会館にあるような地域物産店を駅横の空き物件や観光案内場所に作り、駅の賑わいも考えた配置をする。 ・現に駅東口でコロッケや桃、イチゴの特設売場を時々実施しているが、それなりに人気がある。	第3章目標別構想で都市づくりの目標3【地域資源を活かしたにぎわいづくりと多様な働く場がある都市づくり】には、その方針の一つに「JR龍ヶ崎市駅周辺の魅力向上」を掲げております。 その中で、個別具体的な手法等を検討していくこととなるため、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

	ご意見	回答
8	龍ヶ崎の廃校を活かす提案 私が子育てをしていた時に子供の習い事の送迎がとても大変だと感じていました。兄弟や自分の都合で、やりたい事をさせてあげられないこともありました。 学校には教室・音楽室・調理室・体育館が揃っていて、学習塾、英語・英会話、絵画教室、スポーツ、音楽など様々な習い事に対応できる。お腹を空かせてやって来る子供たちに調理室で軽食やおやつ販売なども助かる。 習い事を集結させて、学校間を送迎で繋ぐ。仕事を終えた親は習い事終了時間にお迎えに。兄弟で違う習い事をしても一か所に迎えにいけば済む。日中は大人や高齢者向け教室。料理教室、PC教室、趣味教室や資格取得セミナーに活用。 ざっくりですが、廃校を活かして、働く両親を助け、子供のやりたいを尊重する提案でした。	第3章目標別構想で都市づくりの目標1【すべての人にやさしい住まいと地域がある都市づくり】には、その方針の一つに「公共施設再編成の推進」を掲げ、学校跡地の有効活用についても提案しております。 その中で、個別具体的な手法等を検討していくこととなるため、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
9	市道の雑草が毎年生える箇所のアスファルト補修は毎年数メートルでもいいので積み重ねで対応する予算と中長期的な計画を立ててほしい。 本件にかかわりそうなキーワードがないが本市に引っ越して生活しづらい要素なので、プランにキーワードだけでも組み込んでいただきたい。 雑草を毎年除草する予算があるなら、毎年10mでもアスファルト補修するなり、育ちすぎた沿道の樹木の間引きに予算をあてて中長期的な対策をしてほしい。低木も小さく刈るようにしないといったちごっこ状態で、税収減の時に手入れが行き届かず悪化していきそうで心配。県道は仕方ないかもしれないが、市道も同様に感じる。 背丈が高い雑草が生える歩行者が多い交差点は特に補修を計画してほしい。	第3章目標別構想で都市づくりの目標4に【水と緑・歴史に囲まれて生活できる都市づくり】を掲げており、街路樹の維持管理などにつきましては、その目標に向かっての基本的な考え方や方針に沿って取り組むこととなります。 当市の街路樹を含みます身近な緑の維持管理等に関しましては、本計画の関連計画となります「緑のまちづくりプラン」にその詳細が整理されておりますのでご参照ください。 なお、道路や公園の除草については、近年多くの市民の皆様からご指摘をいただいております。地球温暖化の影響か、生育が早くなっているため、本年度より主要な道路等においては除草回数を増やすなどの対策を行っているところです。
10	駅前安全改修は駅を利用する市民の意見も聞いてほしい。歩道や横断歩道のカラー塗装、反射板などがなさ過ぎて視覚的にも危ない。それらの現実的な対応を踏まえた記載なのか、ただの理想を記載しているプランなのかわからなかった。 最近LINEで道路に関して報告する仕組みができたようですが、そのようなソフト的な取り組みなどはマスタープランには記載されないのでしょうか。	第3章目標別構想で都市づくりの目標3に【地域資源を活かしたにぎわいづくりと多様な働く場がある都市づくり】には、その方針の一つの「JR龍ヶ崎市駅周辺の魅力向上」中のJR龍ヶ崎市駅東口駅前広場の改修につきましては、現在、実証実験を行い、安全性や利便性などの方面から検証を行っています。実証実験中のお気づきの点がありましたら、お聞かせくださいますようお願いいたします。 また、LINEによる道路・公園の不具合をご連絡いただきます仕組みは、都市施設の維持管理に重要な取り組みですので、追記してまいります。
11	にぎわいだけでなく、交流人口、関係人口の増加、イベントや施設利用等支出の増える仕組みづくりは都市計画にはあまり触れられないのでしょうか。 関係人口は税務署やハローワークや高校大学などきっかけは多いものの、訪れる前後に滞在する箇所がないのとPRがない。 その他にたつのこ山公園はにぎわいや市外利用者がいるものの、飲食等の別の支出につながずもったいない。また、龍ヶ崎市駅前の観光センターも現代的でなく10～30代が寄りたくなる空間もしくはカフェなどのスポットにした方がPRになる。移住希望者が興味わくスポットでもない。(10～20代のアイデアで再編希望) にぎわいという言葉が少し一般的な言葉でまとめられているように感じる。現代的なアイデアを募って新たな仕掛けや誰もが挑戦や成長を目指している雰囲気してほしい。	本計画は、本市の最上位計画である龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030に即したものとなっており、にぎわいの創出、交流・関係人口の増加に対する施策につきましては、当該計画に整理されております。それを踏まえたうえで必要となる土地利用の方向性や都市施設の適正な配置等都市計画に関する基本的な方針を示すものとなっております。
12	区画整理事業の旗振りや募集をしてほしい。特に龍ヶ崎市駅前。 駐車場用地ばかり増えているを傍観している状況。自治体として再編提案を試みていただきたい。 また、閉鎖した駐輪場用地を駅前用地と交換を募るなどして価値創出をはかるのかそのままになるのか気になりました。別の予算を優先にしてしばらくそのままでいいとは思いますが、一時的にも駐車場用地にするなり、企業に土地貸し出すなり、何か価値を出してほしい。	JR 龍ヶ崎市駅周辺のほとんどは、既に区画整理事業を実施したうえで今の形となっております。本計画としては、駅前広場の改修や佐貫3号線の整備などによる地域の魅力向上に資する取組を少しずつ実施していくことで、駅周辺の魅力を高めていきたいと考えております。 また、閉鎖した駐輪場用地につきましては、第2章全体構想の土地利用の方針で「公共施設の廃止等により、土地利用の変更が必要となる区域については、周辺環境に配慮するとともに、地域の活力向上に寄与する土地利用への転換を図ります。」としており、この基本的な考え方に基づき、新たな土地利用について検討していくものとなります。

	ご意見	回答
13	防災対策の中に熱中症・暑さ対策も含まれてくる時代と想定していますが、もし意味合いとして含まれないようなら、考慮されるように文言追記を検討いただきたい。	ご意見のとおり、昨今の猛暑といわれる夏の暑さは、行政としてもその対策を考えていかなければならないと認識しております。本計画では第1章龍ヶ崎市の概況の中で課題として挙げさせていただいております。 都市計画マスタープランは土地利用の方向性や都市施設の適正な配置等都市計画に関する基本的な方針を示すものとなっております。ご意見につきましては、環境分野や保健医療分野で対応策を検討してまいります。
14	企業の誘致という記載があるが、IT人材の育成など都内が多い仕事を職住近接できるようサテライトオフィスや支店進出支援をしてほしい。	いただいたご意見の趣旨を踏まえた内容として、第3章目標別構想で都市づくりの目標1【すべての人にやさしい住まいと地域がある都市づくり】には、その方針の一つに「DXの推進によるテレワークの普及など、場所にとらわれない暮らし方・働き方の進展といった新たな移住ニーズに適切に対応するため、住宅施策や環境整備を進め、定住促進、人口増加につなげます。」と提案しております。
15	57ページ的美浦栄線バイパスの南部でもう少し千葉県民に向けたPR的な要素も検討いただきたい。若草大橋を利用しているが通過するだけの状況でいろいろもったいない。	第3章目標別構想で都市づくりの目標5【誰もが快適に移動できる都市づくり】には、その方針の一つに「道路ネットワークの整備」を掲げております。 その中で、まずは千葉県側も含めて道路によるアクセス性の向上が重要であると考えておりますことから、「～若草大橋から以南の千葉県側での国道464号（北千葉道路）への延伸等について、関係機関に働きかけます。」と提案しております。
16	龍ヶ崎市駅前の景観美を。さびている箇所など再塗装するなども検討を。関係人口にいい印象が残らない。予算が厳しいなら、住民で塗装やリフォーム体験のようなことをして街を育ててもいいと思う。	第3章目標別構想で都市づくりの目標3【地域資源を活かしたにぎわいづくりと多様な働く場がある都市づくり】には、その方針の一つに「JR龍ヶ崎市駅周辺の魅力向上」を掲げております。 その中で、個別具体的な手法等を検討していくこととなるため、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただければと思います。
17	あまり利用されていなそうな自治会館をもう少し利活用する推進がほしい。市内に何か所あり、どのくらい活用されてるのか。 税収の補助があって建てたらしい自治会館ですが、利用されている時間も短く、空き家に近いイメージが高い。コミュセンか自治会館かどちらか集約するのかどちらかをもっと開放するなりして、収益化もしくは企業誘致や交流スポットなどにしたらと思う。	市内には約90か所の地域の集会所があります。集会所は、各地域の住民自治組織がそれぞれの考えのもと、建築し、運用されております。一方でコミュニティセンターは市の施設であり、条件はありますが無料で市民に開放していることから、交流スポットとしての役割も果たしている施設となります。
18	マスタープランのPDCAを繰り返す仕組みがほしい。 中間見直しだけではスパンが長すぎる。 数年後に何かしました。というより、毎年何かしらアクションをいろいろ起こしてみただけで成果なかったのでは来年度は見直しますとなってでも街の成長がありそうなわくわくがあることが、市外からの移住促進や市民参画につながると思う。	都市計画マスタープランは、土地利用の方向性や都市施設の適正な配置等都市計画に関する基本的な方針を示すものであり、中長期的な取組となります。このため、それぞれの具体的な事業の評価については、個別の計画等で定めた期間や手法に基づき実施した上で、本計画においては、こうした評価の積み上げを基に、中間年度において評価していくこととしたいと考えております。
19	空き家だけでなく休耕地の活用などは特に検討しないのでしょうか。 必須ではないですが、自治体での自給自足の促進も必要になってくると思っています。	第3章目標別構想で都市づくりの目標4に【水と緑・歴史に囲まれて生活できる都市づくり】を掲げており、休耕地の活用につきましては、その目標に向けた方針において、「農地の集約化等により、農地利用を促進することで、荒廃農地の発生抑制に努めます。」と提案しております。その他、詳細な対応につきましては、農業政策の中で検討してまいります。
20	南部地域のにぎわい広場ですが、駐車場が少なく、近隣住民以外は使いづらい。駐車すらできず利用できなかった。すでに現在している箇所の促進を記載するより、市全体のにぎわい促進の追加計画をしていただきたい。	にぎわい広場は、平時は地域住民の交流の場として活用されていますが、イベント開催時で多くの来場者が想定される際の駐車場対策については、イベント主催者と調整のうえ、対応するよう努めます。

	ご意見	回答
21	歩きたくなる街並みの形成という言葉が全地域に1つずつほしい。 回遊性や歩きたくなる街並みというのは重要と感じている。	歩きたくなる街並みの形成については、国においてもその取組が推奨されており、重要な考えの1つであると認識しております。取組推進のためには、歩行空間の環境整備のみならず、周遊や回遊につながるコンテンツの充実も課題となることから、本市では、商業エリアであるということや、歴史的資源等が比較的充実した南部地域において、歩きたくなる街並みの形成とさせていただきます。その他の地域につきましては、まずは環境整備を重要課題と捉え、第3章目標別構想で都市づくりの目標5【誰もが快適に移動できる都市づくり】の方針の一つに「移動の円滑化」を掲げ、その中で「～ユニバーサルデザインを基本とした歩行空間の形成等を図ることにより、誰もが安心して快適に移動できる環境整備に努めます。」と提案しており、この基本的な方針のもと、市民が歩きたくなる環境を整備していきたいと考えております。
22	ペロプスカイトなどの再生エネルギーの活用やモビリティ、SDG s など、中長期的に考えると必要そうな事項なのでそれらの意味合いを含めてプランを考慮いただきたい。	第1章龍ヶ崎市の概況において、ご意見の趣旨に沿った都市計画を取り巻く状況を記載しております。本計画においては、そちらに記載の内容を踏まえて内容を検討しているものとなります。
23	牛久沼の越水、線状降水帯による小貝川の危機管理や地域の冠水などで被害があり、整備ができなくなってきている。その都度対応されていたが、水害の対応は被害が多いままとする。また、水田地帯の保全は河川との関連は必要。排水しきれない際には水田に一時の調整・貯水を行わなければならないと思う。県管轄している、牛久沼、市内の一部河川、水田改築事業を働きかけなければならないと考える。	第3章目標別構想で都市づくりの目標2【災害に強くしなやかな都市づくり】の方針の一つに「風水害による被害の軽減」を掲げ、県管理の河川について、水害対策のための整備を働きかけるものとしているほか、水田についてもグリーンインフラの一つと捉え、水の貯留機能の観点から保全に努めるものとしております。
24	南部地域は、芝生がないヘリポートがない。現建設中の保健施設は屋上にヘリポートの実現を要望していたが、予算などで組み込みができなかったのが残念。市街地の高層建てにヘリポートは必要。近年の救急対応は時間との勝負になっており、当方も経験したことがあるので、市街地にヘリポートの設置は必要不可欠。ヘリポートは防災で活躍するが、通常は救急で必要である。	都市計画マスタープランは、土地利用の方向性や都市施設の適正な配置等都市計画に関する基本的な方針を示すものとなります。そのため、建物へのヘリポート設置などの個別のご提案については、防災や医療などの個別計画にて検討を行うものであると考えております。 なお、龍ヶ崎市地域防災計画一般災害等対策計画編資料編にて、ヘリコプター離着陸場候補地の記載があり、南部地域は龍ヶ崎小学校をはじめ、9か所の候補地があります。
25	道路については県道八代庄兵衛新田線沿道の景観保全は維持管理に問題あり。 県道八代庄兵衛新田線の街路樹、植栽は県が数年無放置状態。当方は数年かけて、訴えているが、県はつくば市ばっかに植栽管理を集中してきた。これが仇でつくば市の県道の街路樹は間引き施策することになったが、まだ、完全に終わってない、この維持管理が大事であることから、景観保全は見直しを図るべきと思う。安全施策が優先であり、信号機や規制標識の視認性を優先しないといけないと思う。県は安全（維持管理）＞景観保全の見解です。	県道八代庄兵衛新田線を幹線道路軸と位置付けており、第3章目標別構想で都市づくりの目標5【誰もが快適に移動できる都市づくり】には、その方針の一つに「道路ネットワークの整備」を掲げ、その中で「～地域の実情を踏まえながら、道路交通の円滑化、防災性の向上等に向けて適切な維持・管理を行います」としております。 また、市としては、県道八代庄兵衛新田線の交通環境の改善として、高木化による視距の低下などの課題改善を茨城県へ要望しております。
26	都市計画道路について 佐貫3号線の効果は期待するが、吐き出しが悪くなると思う。佐貫の街中の道路環境が酷いことからこれから調査は必要である。そして駅ロータリーはマナー・ルールが悪く、レイアウト見直しは必要。さらに公共交通と一般車の比率は研究が必要。西部地域の県道及び市道は国道6号線のアクセスが悪く、また、6号線までのアクセス時間の短縮化は必要である。取手市、県、国に働きかけは必要である。 南部地域の都市計画道路は地域住民が本線に入れるようにスムーズな道路が必要。今の潮来街道は街中よりかは住宅地外にしたほうがいいと思う。また、南部地域の道路は取手市の環状ループみたいに改良が必要である。 南北の県道土浦龍ヶ崎・千葉竜ヶ崎・美浦栄線は物流通過路として整備強化しなければならない。	本市の都市計画道路の整備状況としましては、約9割が完成しております。 新たな道路計画に関しては、自動車等の交通量の増加予測、渋滞の状況、また財政状況等を総合的に勘案しながら、その必要性について検討してまいります。

	ご意見	回答
27	鉄道について JR 市駅は特急退避が多いため、踏切閉塞に時間を要している。南側は橋梁が架かっているため、駅は高架化したほうが良いかと。地盤強化として藤代～市駅はスピードののりが悪くなるので、改良は必要。	本市域において J R 常磐線を橋梁により跨ぐには、主要地方道竜ヶ崎・潮来線と県道八代庄兵衛新田線の 2 路線路となっています。そのような中で、現在整備中の都市計画道路佐貫 3 号線の供用開始により、県道八代庄兵衛新田線を利用するの跨線が改善されるものと考えております。 駅等の整備につきましては、市として協力している部分もありますが、基本的には東日本旅客鉄道（株）において、総合的に検討されるものと考えています。
28	単に龍ヶ崎市だけでなく他地域からの受け入れ姿勢を持って都市計画をしないといけないと思う。物流通過路は成田空港、印西・阿見の物流施設、そして圏央道、また、北千葉道路とのアクセス性を高めれば移住促進が可能でないかと思う。 龍ヶ崎は天候左右がなく、天災被害がすくないが、他市にも防災の強化はあってもいいかと思う。ビジネスや住居環境のバランスをとることが大事。 周辺市町村、茨城県、千葉県や市町村、そして国に積極的 PR をしていただきたいと思います。	ご意見のとおり、広域の視点を持った都市計画が重要であると考えております。 第 3 章目標別構想で都市づくりの目標 5【誰もが快適に移動できる都市づくり】には、その方針の一つに「道路ネットワークの整備」を掲げ、その中で「～圏央道へアクセスする美浦栄線バイパスの整備促進のほか、若草大橋から以南の千葉県側での国道 464 号（北千葉道路）への延伸等について、関係機関に働きかけます。」と提案しております。